

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

西川ゴム工業株式会社 吉田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸高田市吉田町吉田1489-23

(3) 業種

工業用ゴム製品製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成24年度を基準年度とし、平成26年度から平成28年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

<基本理念>

当社は、環境保全を経営の重要課題として、社是(正道, 和, 独創, 安全)の精神で、製品の開発・生産・販売の全ての段階において「地球にやさしい事業活動」をグループ全体で取り組みます。

<行動指針>

1. 法令遵守

環境関連の関係法規制等、及び当社が合意するその他の要求事項を遵守します。

2. 環境に配慮したモノづくり

開発・設計から廃棄までの製品のライフサイクルにおいて、環境負荷物質の低減に取り組みます。

3. 環境負荷の低減

事業活動において、省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物の削減、有害化学物質の使用抑制に取り組み、その継続的改善に努めます。

4. 社内啓発活動

全従業員の環境に関する法律遵守及び環境への意識向上を図るため、環境教育を継続的に実施し、全社的な環境保全活動を推進します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成24年度	平成25年度
二酸化炭素		3,185	3,089

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成24年度	平成25年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成24年度	平成25年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂						0
非エネルギー起源CO ₂						0
メタン						0
一酸化二窒素						0
フロン類						0
温室効果ガス 実排出量総計						0
温室効果ガス みなし排出量						0
目標設定の考え方						

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 原単位=エネルギー使用量(原油換算kl)/投入量千t

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成24年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	3,185	6.7	477.7	3	3,089	6.7	463.7
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	3,184.8	3	-	-	3,089.3
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	原単位年間1%削減	・生産ライン温調設備の効率化 ・空調機のインバータ化 ・生産ラインの統合化 ・設備不稼働時の設備停止の徹底 ・製造工法・プロセスの変更 ・照明のLED化
2	燃料使用量の削減	原単位年間1%削減	・生産ラインの統合化 ・設備不稼働時の設備停止の徹底 ・製造工法・プロセスの変更
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別紙EMS体制図

(2) 実施状況の点検・評価

環境責任者、環境管理推進者及び事務局を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行う。また、定期的に評価・見直し等を行い、継続的改善を図る。

(3) 計画書等の公表

事業所に備えつけて閲覧する。